

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-119198(P2009-119198A)

【公開日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2009-022

【出願番号】特願2007-312143(P2007-312143)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月17日(2010.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球を発射する発射手段と、

発射された遊技球が案内される遊技領域と、

前記遊技領域内に配置された入球手段と、

前記入球手段へ入球した遊技球を検出する入球検出手段と、

前記入球検出手段から出力される信号を監視して所定の制御を行う制御手段とを備えた遊技機において、

前記入球検出手段は、遊技球の非検出中は第1レベルの信号を継続して出力し、遊技球の検出中は第2レベルの信号を継続して出力し、

前記制御手段は、

前記入球検出手段から入力される信号レベルを定期的に監視する信号監視手段と、

前記入球検出手段から入力される信号レベルに基づき、前記入球手段への入球の有無を判定する入球判定手段と、

前記第2レベルの信号の継続期間が予め設定された規定期間を越えたか否かを判定することにより、前記規定期間を超えた場合には異常有りの判定を行う異常判定手段とを備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記異常判定手段により異常有りと判定された前記第2レベルの信号の継続期間が予め設定された第2の規定期間を越えたか否かを判定することにより、前記第2の規定期間を超えた場合には、前記入球検出手段との電気的接続が断たれている旨の判定を行う接続断判定手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記第2レベルの信号の継続期間を計測する計測手段を備えたことを特徴とする請求項2に記載の遊技機。